

フランソワ・サルク (チェロ)



フランソワ・サルクはフランス人チェリストで、イエール大学、及びパリ音楽院のディプロム取得。ジュネーブ国際コンクール、チャイコフスキー国際コンクール、ミュンヘン国際コンクール、ロストロポーヴィチコンクール、そしてレオナルド・ローズコンクールで若い時期より数々の賞、同時に特別賞を獲得。ピエール・ブーレーズに、「彼の繊細さと優雅さのある演奏」、または「桁外れのカリスマ」と賞賛される。

すでに60カ国での演奏、そして数々の録音が残されている。

室内楽においては、エリック・ル・サージュ、アレクサンドル・タロー、エマニュエル・パユ、ヴァンソン・ペイラニ等との共演し、その演奏、録音はディスク大賞を受賞し、フランス国内外の、ディアバゾン・ドール、ショック・ドゥ・ラ・モンド・ドゥ・ラ・ミュージック、10のレパートリー、シャルル・クロス・アカデミー賞、ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック、シチズン・ジャズ賞、BBCパルム・ドール等の音楽雑誌、音楽祭で高評価を得る。

イザイ弦楽四重奏団で5年チェリストを務める。

ティエリー・エスカイヒ、カロール・ベッファ、ニコラ・バクリ、ジャン・フランソワ・ズィーゲル、クリストフ・マラカ、ブルーノ・マントヤーニという現代作曲家の作品のアプローチも熱心に行っている他、現代音楽と伝統音楽の融合にも力を入れている。

彼の音楽性、そしてテクニック、電撃的な演奏は、稀に見るチェリストとして音楽界では一目おかれている存在である。演奏活動の傍ら、現在はローザンヌ音楽院、パリ国立音楽院にて後進の指導にあたっている。

オフィシャル・サイト <http://www.salque.com/>

Profile

成嶋 志保 (ピアノ)



東京音楽大学付属高校、パリ・エコール・ノルマル音楽院、イモラ音楽院(イタリア)、国立リヨン音楽院大学院で学んだ後、シャンティイ音楽院、ノワイヨン音楽院、エコール・ノルマル音楽院、国立ニュー・カレドニア音楽院などでピアノ教授を務める。第24回新潟県音楽コンクール優秀賞、第1回ウィーン音楽コンクール・イン・ジャパン高校の部第2位、フランスUFAMコンクール室内楽部門第2位などを受賞。

南仏ロックダンテロン・ミュージック・フェスティバル、三善晃プロデュース「響き合うピアノ」、パリ日本文化会館「日本のピアノの若き才能」、大阪ABC新人演奏会、「ラ・フォル・ジュルネ新潟」、「シュマン・ドゥ・ミュージック」音楽祭(リグジェ)などでのソロ

演奏のほか、新潟交響楽団、中国・アモイ市交響楽団、ブリュッセル室内管弦楽団、国立リヨン音楽院管弦楽団などとのコンチェルト共演、また室内楽では、河原泰則(コントラバス)、ジョゼフ・カレイア(テノール)、ジョン・ヴォンダシ(バリトン)、井上静香(ヴァイオリン)、ニコラ・ドートリクール(ヴァイオリン)などの各氏やリジェ弦楽四重奏団との共演など数々の演奏実績をもつ。

これまでに、野本寛子、相馬上子、関根有子、ジェラルド・フレミイ、ラザール・ベルマン、ピエロ・ラッターノ、ピエール・ポンティエ、フランス・クリダの各氏に師事。

現在、フランス・ナント市に在住し、女性作曲家や無名の作曲家の作品を積極的に取り上げた演奏活動をフランス各地で行っている。また、2017年からは、そのユニークさがOuest France紙で紹介された「ベズィル音楽祭」の芸術監督を務めている。

オフィシャル・サイト <http://shihonarushima.jimdo.com/>

Profile

KYOTO

2018.10.25 [THU]

~京都公演~

パロックザール
Barocksaal
京都 青山音楽記念館
Aoyama Music Memorial Hall

〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1



TOKYO

2018.10.26 [FRI]

~東京公演~

暁 HAKUJU HALL

白寿ホール

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1丁目37-5

